

## 2.4 さぬき市安全安心コミュニティシステム整備事業(香川県さぬき市)

### ■事業の実施目的(解決すべき地域課題)

平成14年4月に市町村合併により誕生した「さぬき市」では、平成14年度に市内全域にHFC方式のCATV施設を整備し、自主放送、TV再送信、インターネット等のサービスを開始しました。その後、平成15年度には、CATV施設を利用した音声告知システムを整備、平成16年度には同報系防災無線などを整備し、防災情報や行政情報を提供しています。しかしながら、情報発信をする場合には、システム毎に定められた場所で情報を（音声）入力する必要があり、同一情報を複数回入力する必要がありました。平成21年度において、ICTを活用した連携システムを整備し、いつでもどこからでも、防災情報や防犯情報だけでなく、行政情報や地域情報も提供できるシステムを整備することで、全市民が安全で安心して生活できるまちづくりを推進しました。

複数ある情報を連携させると同時に、いつでもどこでも情報入力が可能となるシステムを整備します。また、普及率の高い携帯電話のメールなどを利用して、いつでもどこでも情報を受信できるシステムを整備します。

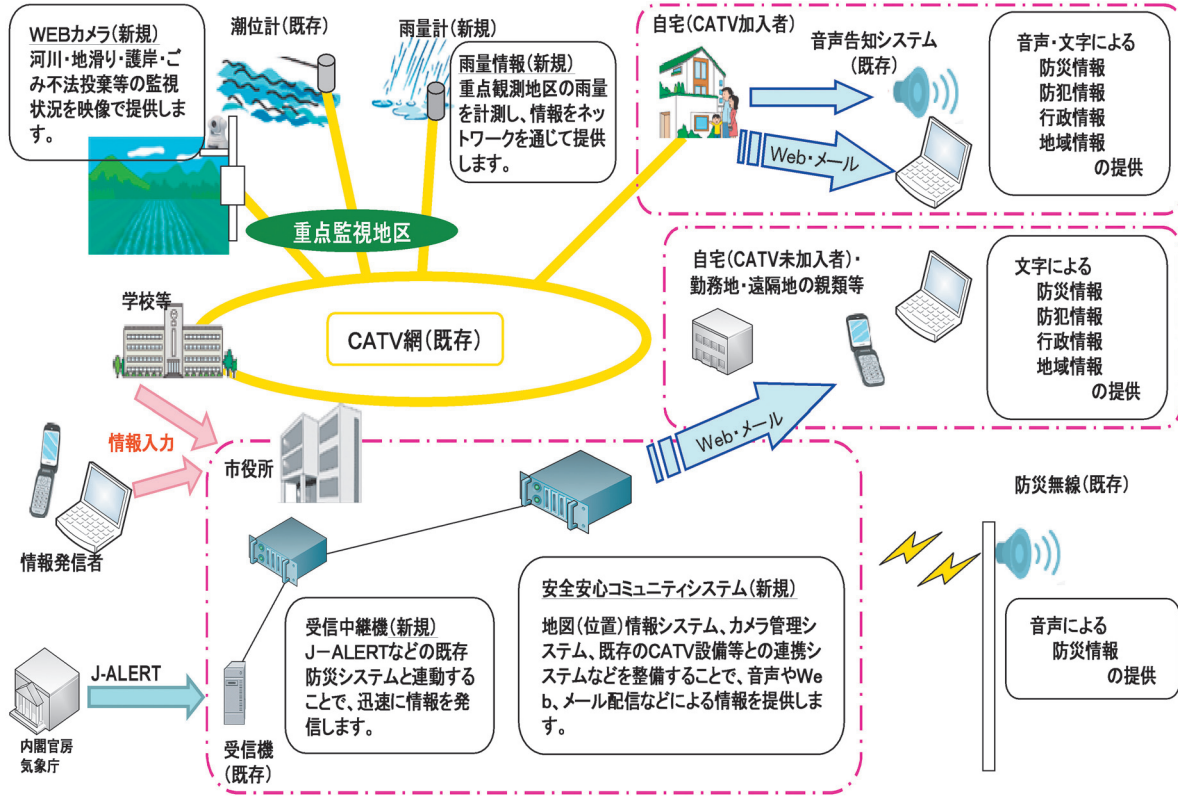
### ■実施体制

実施体制		
地域協議会		
	名称	取組状況
	安全安心コミュニティシステム運営協議会	本事業で整備するシステムを効果的に運用し、利用者ニーズの把握を行うため、防災関係者、市役所内関係担当者及び住民代表者で構成する協議会を設立する。
主な運営体制		
	団体・氏名	役割
	さぬき市総務部地域情報課 (プロジェクトリーダー)	安全安心コミュニティシステム運営総括
	さぬき市総務部	防災情報・行政情報の提供
	さぬき市市民部	防犯情報の提供
	さぬき市教育委員会	地域情報の提供
	さぬき警察署	防災情報の提供
	住民代表(5名程度)	利用者ニーズの調査

### ■アプリケーション概要

本システムは、J-ALERT、CATV音声告知、潮位計などの既存設備に加え、新規に河川・地滑り・護岸・ごみ不法投棄等を監視するWebカメラや重点観測地区の雨量を計測する雨量計を設置し、安全安心コミュニティシステムを総合的に整備して個別システムの問題点を相互補完できることを目的としています。情報は音声告知での自動音声案内のみならず、文字や画像をメール、Webなどで防災・防犯・行政・地域情報等を市民に提供することで、市民がいつでもどこでも防災・防犯・行政・地域情報などのサービスを双方向に利用することができます。

### ■全体構成



### ■評価

ICTを利用して、J-ALERT、CATV音声告知、潮位計などの既存設備と連携した安全安心コミュニティシステムを整備し、音声告知での自動音声案内のみならず、メールなどで防災・防犯・行政・地域情報等を市民に提供します。本システムを整備することで、市民がいつでもどこでも誰でも防災・防犯・行政・地域情報の提供を受けられるとともに、情報の提供もいつでもどこからでも可能となります。

このシステムを整備することにより、市民が市役所からの情報提供を一方向的に待つのではなく、市民自らが能動的に情報収集し、早期に危険を察知できる仕組みを構築することができました。

### ■課題

個別の機器は導入できても、システムとして予算内で全体を括る一体的な仕組みを整備できる業者の選定に苦慮しました。

また自律的・継続的運営を行うためには、手元に防災・防犯情報が届くということを啓発し、登録者数を増やしていかなければなりません。さらに、ホームページに掲載する雨量や潮位などの状況から市民自らが自主的な避難を行うための判断ができるよう、啓発していくことが必要となります。

今後は、市民が必要とする情報をタイムリーに送ることができるよう、関係部局と連携しコンテンツを確保していきたいと考えています。また携帯電話を持つ市民に登録していただけるよう、自主放送番組、市発行による広報はもとより、自治会長会、自主防災会、老人会、PTA連絡協議会など各種団体の会議でもPRし、幅広い年代での知名度アップを図っていきたいと考えています。